

スケジュール

12/5 日

- 13:00-13:20 あいさつ (20 分)
- 13:20-14:30 森林変化とその原因 (各サイト 10 分+クロスサイト 30 分)
- 14:30-14:40 休憩
- 14:40-15:50 森林変化が生物多様性やその機能にどんな影響を与えたのか
(各サイト 10 分+クロスサイトなど 30 分)
- 16:00-17:10 森林の多様性と利用の変化 (各サイト 10 分+クロスサイトなど 30 分)
- 17:10-17:30 全体のディスカッション
- 17:30-19:00 休憩 (入浴) 等
- 19:00-21:00 親睦会 (全体ディスカッション)

12/6 日

- 8:30-10:00 屋久島での研究
- 10:00-10:20 休憩
- 10:20-11:50 阿武隈での研究
- 11:50-12:50 昼食
- 12:50-14:20 ランビルでの研究
- 14:20-15:50 キナバルでの研究
- 15:50-16:10 休憩
- 16:10-17:40 経済・モデル
- 17:40-19:00 休憩等
- 19:00-21:00 食事 (全体ディスカッション)

12/7 日

- 8:30-10:00 全体のディスカッション
- 10:00-10:20 休憩
- 10:20-11:00 全体のビジネスミーティング
- 11:00-12:00 コアメンバーによるミーティング

要旨・業績集 (班別 筆頭者五十音順)

屋久島班 p1～

屋久島の民俗植物学

相場慎一郎・湯本貴和

屋久島における森林変化が生物種多様性および生態系機能に与えた影響

揚妻直樹

屋久島照葉樹林に生息するヤクシカの遊動域構造

揚妻直樹・揚妻一柳原芳美・日野貴文

暖温帯に生育する絞め殺しイチジクの結実フェノロジー

大谷達也

屋久島島内6箇所に設置した防鹿柵内外での林床シダ植生と実生の発芽・定着

辻野亮

サルの糞に含まれるヤマモモの種子の遺伝的多様性

寺川真理・井鷲裕司・松井淳・湯本貴和

「果実食鳥の渡りより早く結実する種に種子散布上の利益はあるのか?」

半谷吾郎

屋久島における森林管理放棄と関与主体の構成：今後の計画

森野真理

阿武隈班 p13～

森林構造の変化が生物多様性にもたらす影響 -樹木個体群と全生物を対象とした解析-

井鷲裕司

森林の分断化・人為攪乱が樹木の送粉に与える影響 -イタヤカエデの送粉様式-

菊地賢・柴田銃江・吉丸博志

落葉広葉樹林保残帯と周辺人工林の鳥類の種多様性

東條一史

小川学術参考林とその周辺の草本種多様性 -老齢林の林冠の動きにどういふ種が反応するか?-

長池卓男・田中 浩・新山 馨・柴田銃江・五十嵐哲也・武生雅明

阿武隈山地南部での森林変化とその要因

新山馨・宮本麻子・佐野真琴

阿武隈山地南部での森林利用の変化

新山馨・宮本麻子・佐野真琴

輪伐によって維持される捕食寄生蜂の多様性

前藤 薫・北島 駿

森林の人為的改変が昆虫の生態系機能に与える変化

牧野俊一・井上大成・岡部貴美子・後藤秀章・濱口京子・
末吉昌宏・長谷川元洋・田中浩・大河内勇

ブナ類豊作がもたらすネズミ類の冬期の種子捕食量の年次変化

安田雅俊, 奥村みほ子, 柴田銃江, 福井晶子, 中村徹

ランビル班 p22～

フタバガキ稚樹の多様性と共存機構

饗庭正寛・中静透

ランビル国立公園および周辺二次林の鳥類相と、イバンの村人による鳥の民俗学的な認識

相原 由美

Difference in diversity and composition of butterfly species among forests of different stand age: report of my research activities in Lambir in 2005

ITIOKA, Takao

サラワク・イバンにみられる自然資源利用についての制度

市川昌広

サラワク州パラム川中流域におけるローカルマーケットからみた森林資源利用

加賀 道

サラワク内陸部の狩猟民シハンによる野生動植物利用

加藤 裕美

土地利用別の沈香木分布

金沢謙太郎

フタバガキ科 *Shorea* 属の分子集団遺伝学的研究

上谷浩一・市栄智明

環境変動下での *Melastoma malabathricum* L. の繁殖投資と繁殖器官の脱落

鴨井環

サトイモ科 *Homalomena propinqua* の送粉システムに関わる花香の化学特性と生態的機能の解明

熊野有子

ボルネオのブナン・ブナルイの民族植物学：狩猟採集民の知る有用野生植物

小泉都

マレーシアのフタバガキ林に生育する広葉樹の葉の内部構造と生活型

田中憲蔵・市栄智明・渡辺陽子・広見徹

熱帯雨林の林冠部・樹上部におけるアリ類群集の分布様式

田中洋・市岡孝朗・山根正気

東南アジア熱帯におけるチョウ類の警告色、擬態に関する生態学的研究

土屋泰三

マレーシア・サラワク州における森林利用が小型哺乳類群集に与える影響

中川弥智子・中静透・箕口秀夫

東南アジア熱帯雨林におけるアリ・半翅目昆虫・植物に関する研究

半田千尋

サラワク州の“Sustainable Forest Management”への政策転換とその社会的政治的背景

藤田渡

東南アジア熱帯におけるオオバギ(*Macaranga*)属植物の植食者に関する研究

松本大吾

Under what conditions can biodiversity resource use be sustainable? A theory and an example in Borneo

Kuniyasu MOMOSE

Patterns of plant-animal interactions and plant diversity in relation with spatial distribution of land use around Lambir Hills National Park

Kuniyasu MOMOSE, Michi KAGA, Miyako KOIZUMI, Hiroshi TANAKA, Keiko KISHIMOTO,
Takashi MATSUMOTO, Takao ITIOKA, Michiko NAKAGAWA, Mitsunori YOSHIMURA,
Masahiro ICHIKAWA, Lucy CHONG, and Tohru NAKASHIZUKA

森林管理方法の違いが菌類群集の構造におよぼす影響

山下 聡・中静 透

キナバル班 p46～

Portable Lidar Systemによる森林物理構造測定の有効性

阿久津公祐・戸田正憲

樹種依存的な土壌微生物群集の酵素活性と基質利用パターン

潮 雅之・北山兼弘

マレーシア、キナバル山における陸生大型貧毛類の生活史及び糞塊生産

川口達也・R. J. Blakemore・伊藤雅道・和穎 朗太・北山兼弘

キャベツと木材：マレーシアサバ州における森林利用の変遷とその要因、特に山岳と低地の比較

北山兼弘

熱帯林の多様性とその利用の変化

清野達之・武生雅明・相場慎一郎・北山兼弘

大型果実 *Durio* 属の種子散布と大型果実食動物

伐採による大型果実食動物の喪失・減少が森林の更新過程に与える影響について

中島啓裕・北山兼弘

異なる土地利用形態での自然生態系の経済評価

長谷川 弘

森林変化が生物多様性やその機能にどんな影響を与えたのか

松林尚志・伊藤雅道・長谷川元洋・阿久津公祐・清野達之・北山兼弘

経済 p62～

Trade Ban and the Black Market: A Consideration of the Incentives for Illegal Production

大沼あゆみ

Non-pecuniary Value of Employment and Natural Resource Extinction

Y. Hossein Farzin, Ken-Ichi Akao

業績集 p64～

追加 要旨 p75～

「森林の資源化とその“多様性”について」～屋久町：中間集落の事例から～

平野悠一郎（屋久島班）